



# 喜小だより



令和3年11月12日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

## 天高く馬肥ゆる秋

校庭の木々の紅葉が少しずつ進んでいます。秋の青空は高く澄み渡っていて、木々の葉の黄色や赤色とのコントラストが美しく感じます。

学校では、たくさんの体験的な学習が行われています。1年生の国語「くじらぐも」での学習、2年生は生活科で郵便局長さんのお話と見学、3年生の総合的な学習の時間での地域巡り、4年生の総合的な学習の時間での福祉に関する専門家をお呼びしての活動、5年生の家庭科での調理実習、6年生の家庭科でのミシンでの作品づくりなど、どの学年も充実した学習になっています。

また、持久走も始まりました。朝の喜小スポッチャの時間や体育の時間で行っています。各学年の設定時間に合わせて、自分なりのペースで走っています。持久走は、持久力を高めると同時に目標に向かって頑張る気持ちなどの情緒面も鍛えることができます。昔のような順番を競う大会はありませんが、学年に応じて設定した距離を走ったタイムを計測していき、その最高の自己記録を一人一人の記録証をあげる予定です。子どもたちの頑張りを応援していきたいと思います。



## 持久走で体力アップ

朝の喜小スポッチャの時間の様子です。火曜日は1・4・6年生が、木曜日は2・3・5年生が走っています。



## 教育相談 11月1日(月)～12日(金)

教育相談の様子です。事前に「心にかんするアンケート」に回答して、それをもとに一人一人とじっくりと学習や生活について話し合います。友だち関係の話が多く、先生方も子どもたちの悩みのが少しでも解消できるように真剣です。



## あいさつ巡回活動

11月10日(水)

さくら市青少年センターの皆様に来ていただき、あいさつ運動を実施しました。子どもたちは、久しぶりの大人数に驚きながらも、元気な挨拶を響かせていました。



### 4年生「車いす体験、白杖体験」11月4日(木)

4年生の総合的な学習の時間では、誰もが幸せに安心して生活していくためにどうしていったらよいかを考える「福祉」に関する「共に生きよう」という単元があります。この日は、さくら市の社会福祉協議会の方々に来ていただき、車椅子と白杖の体験をしました。障害をもっている人の疑似体験です。少しの段差でも進みづらくなる車椅子や目が見えない中で歩く不自由さを体験して、障害を持つ人の大変さを感じていました。



### 代表委員会

「感謝の集い」に向けて、3年生以上の各クラスの代表委員が参加して協議を行いました。日頃お世話になっている方々が、喜んでいただける会を開こうと、たくさんの意見をだしていました。



挨拶いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

### 地域応援隊の皆様が、授業の応援に駆けつけてくださっています。

2日(火)には、4年生の図工「ゴキゴキトントンクリエイター」の作品制作でのこぎりと金槌の補助に、4日(木)には前回に引き続き5年生の図工で電動糸鋸の補助に、9日(火)には6年生の家庭科のナップザック作りでミシン作業の補助に、そして10日(水)には、3年生の「くぎうちトントン」の作品制作で金槌の補助に来てくださいました。



### 3年生「喜連川わくわく探検」10月29日、11月5日

3年生の総合的な学習の時間に「喜連川わくわく探検」があります。喜連川のよさをいろいろな視点から知る活動です。10月29(金)にはバスでの移動が必要な班が、11月5日(金)には徒歩での見学の班が、それぞれ探検に出かけました。

